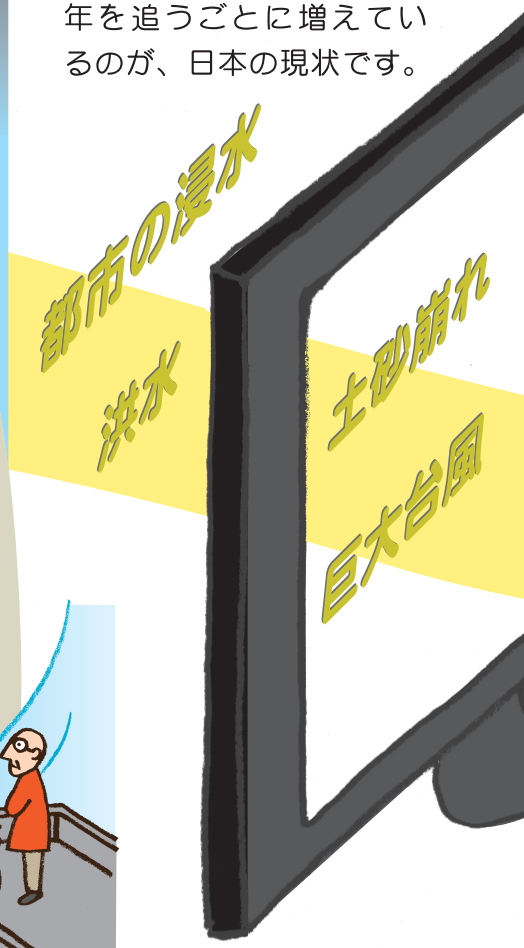
地球温暖化と極端化する気象

地球温暖化は、もはや疑う余地がありません。そして、温暖化により、近年、集中豪雨・異常高温・巨大台風など、これまでに観測されたことのない極端な気象現象が、世界中で発生しています。これに伴い、土砂崩れ・干ばつ・高潮などによる災害も多発しています。

地球温暖化が深刻化することで、自然災害の強大化も懸念されています。日本では、気象庁が平成 25 年(2013 年)8 月 30 日から、新しく「特別警報」の運用を開始しました。特別警報は、「重大な災害の起こるおそれが著しく大きい」場合に発表され、対象となる地域ではこれまで経験したことのないような非常に危険な状況にあり、命を守るために行動をとる必要が求められます。しかし、この「特別警報」の発表が、年を追うごとに増えているのが、日本の現状です。



極端化した気象は、人間の生命や財産を脅かすだけでなく、地球上のすべての生物＝動物・植物・昆虫の生命を絶滅の危険にさらしています。